



沖館市民センターだより

発行 青森市沖館市民センター  
〒030-0002 青森市沖館 1-1-11  
TEL 017-761-4161  
FAX 017-761-4164



**講座レポート** **語り人 なやわや 公演～津軽弁の昔っこの語り～ (6/23)**

地域力アップ講座「語り人 なやわや 公演～津軽弁の昔っこの語り～」が 25 名の参加者を得て開催されました。語り部は、「語り人 なやわや」の相馬邦子さん、大島百合子さん、最上としさんの 3 名。「語り人 なやわや」は各地の高齢者施設で津軽弁の昔っこの語りを披露する等活躍されています。

前半は、相馬さんから津軽弁についてのお話がありました。①津軽弁と思っているが、実は標準語（かしげる、おつけ）②語尾に「～っこ」をつけて使うことが多い③弘前城下で話されていた津軽弁は綺麗な印象がある（語尾に「ねし」を付ける：よく来てけだねし）等

後半は、9つの昔っこの語りが行われました。①きんきらきんのきん②けちくらべ③ほれ薬④虎とツブ⑤観音様の日⑥天狗とじさま⑦うた女房⑧みょうが宿⑨ねこじゃらし

参加者からは、「津軽弁なつかしく聞かせていただきました」「昔っこの唄もまじり楽しかった」「大変分かりやすく、是非、又、聞きたい」「童心にかえった気分で非常に良かった」

等の感想を頂きました。



語り部の昔っこの耳を傾ける参加者

**②「けちくらべ」のあらすじ**

1. 上(かみ)のけちと下(しも)のけちが思いっきり贅沢をしようと花見に行った。桜の花が大変見事で大満足のうちにお昼になった。
2. 弁当を開くと、二人とも握り飯を1つ紙に包んで持ってきていた。上のけちのおかずは塩少々、下のけちのおかずは梅干し1つだった。
3. お互いに弁当を見ていた時、下のけちがいきなり「そんなに贅沢してじえんこたまるが?」と言った。
4. 上のけちは「この塩は少し舐めるだけでまま何杯でも食うことができる。おめの梅干しは贅沢だ」と言った。
5. 下のけちは「この梅干しは食わない。見てるだけでままなんぼでも食える。もう3年も使っている。この先まだまだ使える。それに比べておめの塩はなめれば少しずつなくなるべき」
6. けち比べは梅干しの下のけちが勝ったんだ。

**業務員コーナー**

**これまでに、こんな講座が開催されました!**

**担当 井上、黒滝**



**国連職員として勤務して**

7月24日、元国連職員の菊池昌子さんを講師に迎えて、「国連職員として勤務して」を表題としての講座を開催しました。高校生の参加者を含め、難民の事、戦争への国連の対応、平和について・・・「分かっている様でも良く分からない事が多く勉強になった」「今後も国連のお話を聞きたい」という声など好評の中講座を終了しました。



**赤ちゃん和妈妈の楽しい時間**

スポーツインストラクター大友美幸先生が講師の、子育て中のママたちに毎年人気の講座です。ママたちの交流の場となり、お互い子育ての情報交換しながら、身体も動かしてリフレッシュできると好評です。毎回、参加する赤ちゃんの笑顔に癒されて、ほのぼのとした講座でした。

## 紅花染め教室 ～絹のオリジナルストール作り～ (8/30)



この講座は令和元年から続いている人気講座の一つです。講師は、染色、織物講師の中川麻子さんです。講師の中川さんから「紅花には黄色と赤色2種類の色素があるのですが、今回は赤色の色素を使った染め物を楽しんでください」というお話があり、ストールの紅花染めが始まりました。

- ① ネット(2,3枚重ねる)に紅花を入れて縛る。 ② ボウルに水を入れて、水の中で①を揉み黄色色素を取り除く。紅花から黄色色素が抜けるまで揉み続ける。



- ③ 紅色色素が残った紅花を取り出し絞っておく。



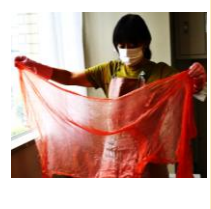
- ④ 水を張ったボウルにソーダ灰を入れ、その中で紅花をよく揉み、紅色液を作る。



- ⑤ ④に酢酸を入れ、泡が少なくなったら、絹ストールを浸ける。



- ⑥ ⑤から絹ストールを取り出し、水洗いをして乾かす。



受講者からは「初めての染め物でしたが、思ったよりうまく染めることができました」「以前から染め物に興味があったので、来年も参加したいです」等の感想をいただきました。



## お勧め講座・イベントのご案内! (10~11月)

### 「スタンドグラスでフットランプづくり」

日時: 10月19日・26日(水)

全2回 9:30~12:30

募集: 18歳以上 10人

講師: 手芸教室主宰 大谷 真知子

教材費: 2,500円

準備物: 割り箸、はさみ、タオル

申し込み: 詳細は10月1日号広報をご覧ください。



### 健康教室「シニア世代に保健師さんがすすめる健康習慣」

日時: 10月25日(火)

10:00~12:00

募集: 50歳以上 30人

講師: 青森市健康づくり推進課

保健師

材料費: 無料

準備物: 筆記用具

申し込み: 詳細は10月1日号広報をご覧ください



### 「県産洋なしでタルトづくり」

日時: 11月19日(土)

10:00~13:00

募集: 18歳以上 12人

講師: 料理研究家・パティシエ

千葉 伸子

材料費: 2,000円(箱込み)

準備物: エプロン・三角巾

・ふきん

申し込み: 詳細は11月1日号広報をご覧ください



### 編集後記

市民センターご利用の際には、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒をお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。当館においても、館内の消毒を行うなど感染対策を徹底し、安全・安心の確保に配慮しながら皆様の学習活動の推進に今後も取り組んでまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164 (内線36)

沖館市民センター担当: 須藤、横内